

# 日本人のための知財担当者中国語読解講座【On Line】

～様々な局面において中国語書面中の中国語の意味を直接に読解把握するために～

中国の知財分野では、2016年の末頃から急激にプロパテント化が推し進められ、昨年1月、知的財産権に関する懲罰賠償制度が導入された民法典が施行され、昨年6月、専利法が12年ぶりに改正施行され、**プロパテントに関する法整備がすでに完了**したと言えます。

このような背景の下、最高人民法院から公表された年度報告によれば、**2021年の専利権侵害訴訟の一番の受理件数は、31618件であり、前年比で10.1%の増加**でした。

そして、確かに、近頃、中国のプロパテント化のほか、**中国企業の産業競争力の向上**により、日本企業が関わる知財紛争が中国で目に見えて増えて来ていますので、特に**中国企業が有する大量の専利権に対する『正確かつ低コスト』での内容把握の重要度が増大**していると考えられます。

10年前は、『中国出願の誤訳』の問題のみが**クローズアップ**されていましたが、現在、中国は、すでに知的財産権の活用時代に入っており、中国出願の質が問われるだけでなく、これまでに取得してきた自社の**中国専利権の権利内容の再確認**も必要な時期に入っています。

また、中国企業とのライセンス交渉、契約、訴訟、無効審判などの局面では、**中国語の書面に対しての『正確かつスピーディな判断』**を行う必要があります。

そして、**日々の中国知財情報を『タイムリーかつ正確』に把握**しておくことは、中国での知財活動方針の策定において極めて重要であると考えられます。

『中国語特許明細書の読解力』があれば、中国語の審判・訴訟に関する書面、法律・法規、知財ニュースを、**翻訳の精度、適用などに難点が存在するケースが少なくない機械翻訳のみに頼らず**に、即時に読解して内容把握して判断することができます。

つまり、現在は、『中国語特許明細書の読解力』こそが、変化の激しい中国知財環境の下、さまざまな局面において適切に対応するための必要条件であると考えられます。

そこで、本セミナーでは、漢字に慣れている日本語Nativeの皆様にも、10年以上の中国語の講師経験に基づき、**中国語の学習経験がまったくない方にも**、入門編、基礎編および応用編を通じて、適宜演習していただきながら、その『中国語特許明細書の読解力』に必要な**すべての知識を、本格的に、効率的に、スムーズに**、身につけていただけます。

また、種々の中国知財情報の入手方法についても、ティーブレークにてご紹介いたします。

なお、ご紹介する例文は、中国語の特許明細書、拒絶理由通知書、契約書などに関するものであり、より実践的に中国語を学習することができます。

また、受講生の方には、「中国語特許明細書を読む。書く。」(ILS出版 第2版 2015年)をお配りいたします。



**講座の目標：講座終了後に、中国特許明細書を自力で読解できること**

## 【スケジュール】

入門編：令和4年7月26日（火）	13：30～16：00	応用編①：令和4年8月23日（火）	13：30～16：00
基礎編：令和4年8月9日（火）	13：30～16：00	応用編②：令和4年9月6日（火）	13：30～16：00

### ◇入門編

第1章 はじめに  
中国語の特徴、通常の中国語学習との比較  
日本人の読解上達スピード  
中国語読解のメリット  
第2章 文成分  
主語、述語、定語、状語、補語、演習

### ◇基礎編

第1章 品詞  
介詞、動詞、助動詞、接続詞、動詞、助動詞、演習  
第2章 文法  
比較文、“将”構文、受身文、使役文、連動文、演習  
第3章 中国語の読解ポイント  
第4章 文の構造の分析技法

### 【その他】

① Q & A  
ご質問は、講義中にその都度、Chatを通じて講師に送ることができ、講師側は、ご質問を適宜確認し、適切な時期を見計らって回答いたします。各講義の最後に、Q & Aの時間を設けます。講義時間以外には、いつでもメールなどでご質問をお受けいたします。

### ◇応用編①②（読解演習）

第1章 ナラビの応用Rule（入門編、基礎編のまとめ資料）  
第2章 クレームと明細書（電気編、機械編、化学編）  
第3章 拒絶理由通知書  
第4章 契約書  
第5章 その他の中国語の書面（専利代理人試験問題の中国語など）

### ◇ティーブレーク

中国の最新知財情報の入手方法  
中国の知財判決書のデータベース  
中国の無効審判の情報の入手方法  
中国の専利権の経過情報の入手方法



申し込みフォーム

### ② 受講生の方が読解したい中国語書面の提供（中国特許公報など）

講座にお申し込みいただいた後、ご提供いただけましたら、適宜、演習資料として利用させていただきます。

### ③ ご受講後のレベル判定

応用編②の最後に、**宿題をお配りします**。提出していただいた宿題に添削・採点をさせていただき、中国語読解に関するレベル判定をさせていただきます。中国語特許明細書を自力で読解できるレベルにあると判定された方には、**修了証を授与**いたします。

## 開催方式

※Zoom Meetingを利用したオンライン形式で開催します。参加者の顔出しはせず、チャット機能を活用し、講師への質問を受け付けます。  
事前にご利用のPC・スマートフォン等で、ZOOMがご利用可能かご確認ください。  
※オンラインセミナー終了後、1ヶ月間オンデマンド配信（有料）を行います。  
開催当日ご都合が悪い方は、オンデマンド配信をご利用ください。

## 講師

**雙田 飛鳥 氏**（北京銀龍知識産権代理有限公司 市場本部CEO 日本弁理士）  
**任 向然 氏**（北京銀龍知識産権代理有限公司 日本部 法学修士）

## 受講料

【入門編】発明協会会員 **無 料** 一般（非会員）5,000円（消費税込み）  
【基礎編・応用編①②】  
発明協会会員 各回4,000円 一般（非会員）各回8,000円（消費税込み）

※一般の皆様へ（1）3日以内のキャンセルの場合、受講料はお返できません。  
（2）一般参加者の受講料請求書は、開催日の10日前頃に郵送いたします

## 申込先

一般社団法人 大阪発明協会（<http://www.jiiiosaka.jp/>） kensyu@jiiiosaka.or.jp  
電話 06-4792-7621 FAX 06-4792-8781

知的財産セミナー「日本人のための知財担当者中国語読解講座」参加申込書

大阪発明協会行  
FAX 06-4792-8781  
kensyu@jiiiosaka.or.jp

申込日 年 月 日

受講希望の講座に○印を入れて下さい

開催日	セミナー名	参加
7月26日(火) 13時30分～16時00分	知財担当者中国語読解講座：入門編	
8月9日(火) 13時30分～16時00分	知財担当者中国語読解講座：基礎編	
8月23日(火) 13時30分～16時00分	知財担当者中国語読解講座：応用編①	
9月6日(火) 13時30分～16時00分	知財担当者中国語読解講座：応用編②	

会社名 または 氏名	部署名 および 連絡担当者
ご住所 〒	TEL
	FAX

受講者名	所属部署名	実務経験年数	E-mail

※お申し込み者様宛に、国の説明会、講座・セミナーほかの情報をご案内させていただく場合があります。なお、案内などを希望されない場合は、当協会へお申し付けください。  
※許可なくして講義内容の録音、録画等をおこなう事を固く禁じます。

発明協会会員以外の方・基礎編以降受講希望の方へ→お支払方法（予納金・銀行振込・郵便振替）

1.請求書（要・不要）

2.予納金処理の方  得意先コード No.

- 振込先銀行 三井住友銀行 大阪本店営業部 普通預金 7900182  
三菱UFJ銀行 中之島支店 普通預金 0042472
- 郵便振替口座 00940-7-312572
- 口座名義 一般社団法人 大阪発明協会
- 会員・非会員の区別 (法人会員・個人会員：) 発明協会・一般)

◆ZOOM参加に必要なもの◆

次のいずれかの機器

- ・スマートフォン (iPhone・Android問わず)
- ・タブレット (iPad・Android問わず)
- ・パソコン (Windows・Mac問わず)



- \* いずれもネットに繋がる環境は必要です。また通信代が無制限でないプランの方はWi-Fi環境で接続してください。
- \* あらかじめZoomの会員登録（アカウント作成）などは不要です。
- \* スマートフォンの場合、バッテリーの消耗が気になることがありますので、電源ケーブルに接続した状態をおすすめします。
- \* スマートフォンのYahoo!アプリでは接続できませんのでご注意ください。(Google Chrome, Safariで接続してください)

◆ZOOM会議入室方法◆

開催1週間前前後を目処に大阪発明協会より参加申込者に招待メールをお送りいたします。お送りしましたメールに記載しているリンク先をクリックしてご入室下さい。